

市内 就労定着支援事業所 管理者 様

川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害計画課担当課長

新型コロナウイルスへの対応に伴う就労定着支援事業の対面支援について（通知）

日頃から、本市障害福祉事業施策に御尽力を賜り、御礼を申し上げます。

「新型コロナウイルスへの対応に伴う就労継続支援事業の取扱い等について」（令和2年2月20日厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課事務連絡）の発出を受け、就労移行支援、就労継続支援（A型、B型）事業所においては、在宅でのサービス利用を認めていましたが、昨今の状況を鑑み、就労定着支援につきましても、以下の要件を満たす場合で、利用者から在宅での支援を求められた場合に限り、感染拡大防止の観点から当面の間、対面以外による支援を認めることとします。

なお、この運用は本市に限るものであること、新型コロナウイルスに係る例外的対応であって通常の運用ではないこと、適切な支援が行われていないと判断できる場合は、後日給付費の返還を求める場合があることに御留意ください。

1 対象者

以下のいずれかに該当し、かつ、在宅での支援を求めている方

- ・企業から対面支援を控えるように言われた方
- ・感染拡大防止の観点から自主的に対面支援を控える意思表示をされた方
- ・感染症の流行による外出自粛等を理由に自宅訪問等が困難な方

2 支援内容

- ・音声通話又はテレビ電話等を通して直接利用者と会話し、必ず相談支援を行ってください。ただし、聴覚障害があるといった、音声等でのやりとりが困難な場合に限り、メールやチャット等、文字情報でのやりとりを認めます。
- ・本人の様子を確認するだけ、定着支援に関係ない会話しかしていない、といった場合は支援を行ったことと認めません。
- ・支援の記録には、利用者とのやり取りに用いた手段及び聞き取った内容を記載してください。
- ・サービス提供実績記録票は、郵送等の対応をしてもなお受給者から押印又は署名を受けられず、来月の写しの提出期限（4月13日）に間に合わない場合は、押印等のない帳票の写しを御提出いただいて構いません。ただし、提出の際には別紙や付箋等を添付し、押印等を受けられなかった理由を説明すること、押印等を受けられたら、次月以降の当該帳票提出時に併せて提出す

ること、を要件とします。

3 その他

- ・利用者には、対面による支援を行わなくても通常の給付費の請求を行う（利用者負担を求める）ことを事前に説明し、同意を得てください。
- ・利用者の居宅等の状況、負担能力により、サービスの提供内容、利用条件に差異が生じないよう最大限配慮してください。
- ・その他法令に定められた基準に違反しないでください。
- ・他市町村が支給決定した利用者については、当該市町村に在宅でのサービス利用の可否を確認してください。

4 対象期間

令和2年3月31日まで（4月以降も延長する場合は再度通知いたします）。

問合わせ先

○事業者指導担当

電話 044-200-0082

○事業者指定担当

電話 044-200-3207

○給付係

電話 044-200-2675